

目標の柱	4	次世代の地域を担う人材の育成
基本目標(政策)	4-1	自ら学ぶ人を育み、支援します
基本計画(施策)	4-1-4	健全な子どもを育てる家庭教育の充実

	課	
主管課・係	生涯学習課	生涯学習係
	教育委員会分室	生涯学習係
関係課・係		

【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が、意図(どのように)なることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①子育て世代の親の不安が解消される。 ②地域全体で子育てをするという意識が向上し、地域の教育力が向上する。 ③今後、親になる中学生が、将来の子育てについて考えるようになる。</p>																																																												
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>①家庭教育講演会の参加者と回数の増加。 ②各学校の子育てふれあい教室の実施回数の増加。</p>																																																												
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>令和元年度</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 家庭教育講座参加者数</td> <td>人</td> <td>656</td> <td>600</td> <td>334</td> <td>600</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	A 家庭教育講座参加者数	人	656	600	334	600	900	B							C							D							<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ⑤ 大きく下回った</td> <td>新型コロナウイルスの影響で実施できない学校があった。</td> <td>④ 達成は困難</td> <td>新型コロナウイルスの影響により実施回数の減少が予想される。また、児童生徒及び保護者が減少している。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>5 令和3年度の目標値達成の見込みと方向付け</p>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ⑤ 大きく下回った	新型コロナウイルスの影響で実施できない学校があった。	④ 達成は困難	新型コロナウイルスの影響により実施回数の減少が予想される。また、児童生徒及び保護者が減少している。	B				C				D			
			単位	令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度																																																					
	実績値	目標値		実績値	目標値	目標値																																																							
A 家庭教育講座参加者数	人	656	600	334	600	900																																																							
B																																																													
C																																																													
D																																																													
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																																										
A ⑤ 大きく下回った	新型コロナウイルスの影響で実施できない学校があった。	④ 達成は困難	新型コロナウイルスの影響により実施回数の減少が予想される。また、児童生徒及び保護者が減少している。																																																										
B																																																													
C																																																													
D																																																													
<p>6 施策の目的に対して、今まで実施してきたことはなんですか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館講座の実施による子育て中の親に対する子育ての知識や家庭教育に関する情報提供の実施。 ・各学校、PTAなどで実施する家庭教育に関する講演会等への支援の実施。 ・青少年健全育成町民会議を中心とした事業(青少年の主張大会等)の実施。 ・地域全体の教育力向上のため、文化講演会などの実施。 																																																												
<p>7 町民等の外部意見を聴取する仕組みと反映状況を記載してください。</p>	<p style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>家庭教育推進連絡協議会を開催して各委員からいただいた意見を事業に反映し実施している。</p>																																																												

【施策の振り返り】

<p>8 「2 成果目標」に対する有効性(成果が上がった点・問題点)</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響がありながらも、全ての事業を中止するのではなく、感染対策と学校等の理解を得ながら実施することができた。 ・町民の家庭教育に対する認識が深まり、地域の教育力向上が図られた。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講演会を開催する学校が固定化されている。 ・子育てふれあい教室は、幼児の減少により実施できない地域がある。 ・各種事業に参加できない(参加しない)方に対する家庭教育の重要性の意識づけが必要。
<p>9 本施策の類似性</p>	<p style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
<p>10 本施策の効率性</p>	<p>現段階においては、これまでの取組など継続した事業展開を図ります。今後はインターネット配信による講座の実施について検討する。</p>

【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>11 自己評価や外部意見を踏まえた施策全体の今後の方向性</p>	<p>学校や家庭、地域との連携が核となる家庭教育事業の重要性は変わらないことから、地域全体で教育力の向上を図るため、家庭教育を支援する外部団体と連携した事業を検討します。</p>
-------------------------------------	---

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和3年度新規事業 に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)			
			事業費(千円)			
			令和元年度決算額	令和2年度決算額	令和3年度予算額	令和4年度予算額
01	家庭教育講演会 開催	生涯学習課	目的	児童生徒や保護者、地域の大人に対して学習の機会や情報の提供を行い、各家庭や地域の教育力の向上を図る。		
			概要	家庭教育に関する講演会や中学生と幼児のふれあい体験等を実施した。		
			成果	家庭教育の重要性を認識していただくとともに、地域全体で家庭教育に取り組んで行く必要性などの理解を図ることができた。		
		生涯学習係	問題	各種事業に参加できない(参加しない)方へのアプローチをどのようにしていくか検討が必要である。		
			対策	①継続 事業に参加できない方々に対し、興味関心を持ってもらえるように、事業内容と周知方法を検討する。		
		事業費	104	109	202	202
		02			目的	
概要						
成果						
	問題					
	対策					
	事業費					
03			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
04			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
05			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
06			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
07			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
08			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
事業費の合計(千円)			104	109	202	202